

**事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表**  
「おれんじ初倉」

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			課題に取り組む部屋と、遊びなどを行う部屋で適切に広々とした空間を確保できている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の人員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			放デイ事業のスペースはバリアフリーになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		管理者、提供責任者を中心に月例会議を進め、支援計画についてなどの話し合いを行っている。（目標に対する振り返り、検討など）
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			概ね年 1 回実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価については未実施。それについては重要事項説明書への記載している。今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内研修を月 1 回実施していたが、現在新型コロナウイルスの影響で中止。外部研修への参加は行っているため、事業所の月例会議にて報告と検討を行っている。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画作成時以外でも随時、必要に応じて保護者様と連絡を取り合ったり、ご本人の様子を見たりしながら計画作成につなげている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人内の放課後等デイサービス事業所オリジナルの様式を作成し使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月例の会議事、日々の打ち合わせ時などに職員からの提案なども取り入れ内容を検討している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者様に合わせて無理のないように内容を工夫している。利用時間等、その時々様子にも合わせて考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をき	○			利用時間に合わせ、利用者様の興

	め細やかに設定して支援しているか				味のあるもの、楽しめるもの、ステップアップの為にチャレンジするものを考え、提供している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様からの聞き取りや本人の利用状況を考慮し、無理のないように計画作成を行っている。
	⑮ 支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			学校へのお迎え開始前に、内容や分担を確認している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			支援記録記入を複数職員で行いその日の振り返りをしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の様子、状態の変化などについて細かく記入している。必要に応じて話し合いを行い改善に努めている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			月例の会議の中で職員全員から情報を収集しながらモニタリングを行っている。計画の見直しにつなげている。
	⑲ ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			利用者様の特性、状況に合わせ、創作活動、調理、社会見学、地域の施設の活用などを計画しているが、新型コロナウイルスにより、特に外出活動など制限されている場合もある。
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			日頃から、また定例会議などで情報を収集し、児童発達支援管理責任者が出席している。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			通学する学校毎に、メール、お便り、ホームページや保護者様からと違いはあるが情報は頂いている。トラブルについては速やかに、丁寧に連絡し、対応するよう心掛けている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアの必要な利用者様の利用実績なし
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		主に相談支援事業所と保護者様から情報を得ている。就学前の機関からの情報が必要な時には相談事業所を通して情報をいただいている。

	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		要望に応じて提供を行っている。移行時以外でも情報の提供依頼のある場合は対応している。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修への参加は行っている。今年、中西部地区発達障害者支援センターが開設されたため、今後連携をし、相談など助言を受けていきたい。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか		○		外出先の公園、施設などで一緒になる事があるが、感染症への配慮から積極的な交流はできていない。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			島田市自立支援協議会のこども部会へ参加している。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃の様子、変化などはメールや連絡長を利用。必要な場合は電話で連絡をし、保護者との共通理解を図るようにしている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		サービス提供時に発見した良い対応方法や、成長が見られたことなどをお伝えし保護者様と共有するよう努めている。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			保護者様には契約時に十分な時間を設けていただき、説明をさせていただいている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際は面談時期以外でも随時、時間調整し相談に応じている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		毎年法人で開催する研修会、イベントに保護者さんの参加を呼びかけているが、今年は感染症対策への配慮から開催は行っていない。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決のための受付、相談窓口、第三者委員について契約時に説明し、チラシを事業所の目につく位置に掲示している。また、苦情について、事業所内の努力等で解決できるものについては早急に対応している。
	③4	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に	○			当法人の発行する、うえるびー通信(月1回発行)にて当事業

	対して発信しているか				所のお知らせ、予定などを発信している。各事業所のお知らせで緊急の場合はメールによる発信をすることもある。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	○			職員へは雇用時に誓約書も提出してもらい、職員全体で順守してもらっている。法人内研修においてもコンプライアンスについて学ぶ機会を設けている。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言語のみでなく、視覚的支援も利用。保護者とは電話やメール、ノートなどで意思疎通に努めている。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか		○		例年11月に坂口事業所にて地域交流会を実施し、多くの人に来所していただいている。今年は感染症対策で中止となった。
非常時の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルについては、必要に応じて書き換え、その内容は月例会議等で職員へ周知している。保護者へは具体的な内容までは周知できていないが、契約時にマニュアルがあることについてはお伝えしている。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎年2回実施だが、今年度は感染症の配慮もあり1回の実施。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内で年に1回以上の研修実施、その他外部研修への参加を行っている。
	④① どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		職員には身体拘束について研修や会議などで確認。保護者には契約時や必要な場合には身体拘束について説明し、ご理解をいただくようにしている。支援計画にも記載している。(現在該当者なし)
	④② 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在該当者はいないが、必要な場合には対応をしていく。
	④③ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			危険が予測された場合にはヒヤリハット報告書を作成し確認。また定例会議でも議題にあげ、今後の対策を話し合い事故防止に努めている。